

2006年9月7日

ららぽーとがマルチ決済システムの採用決定

～2007年3月より4大商業施設への導入を正式決定。

1台の決済端末で「Suica」「iD_{TM}」(DCMX_®等)両方が利用可能に～

株式会社ららぽーと

東日本旅客鉄道株式会社

株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

株式会社ららぽーと（本社：千葉県船橋市、代表取締役社長：前田昌男、以下ららぽーと）は、同社が運営受託を行う新設の4大商業施設（ラゾーナ川崎プラザ、アーバンドック ららぽーと豊洲、ららぽーと柏の葉、ららぽーと横浜）に対し、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ（本社：東京都江東区、代表取締役社長：浜口友一、以下NTTデータ）が構築する「マルチ決済システム」を採用することを決定いたしました。この「マルチ決済システム」は、東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：清野智、以下JR東日本）と株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中村維夫、以下NTTドコモ）が提供する「共通インフラ」を、ららぽーと各店舗で使用するための決済システムであり、「Suica 電子マネー」及びケータイクレジット「iD」(DCMX等)の両決済サービスが利用可能となります。

なお、ららぽーとは、運営受託を行う新設の4大商業施設に、「マルチ決済システム」を2007年3月以降順次導入していきます。

「マルチ決済システム」を導入することにより、お客様は、1台の決済端末で「Suica 電子マネー」、「iD」(DCMX等)の両方の非接触決済サービスがご利用いただけるようになり、お客様の利便性が大きく向上します。

ららぽーとが導入する今回の「マルチ決済システム」の費用の一部は、JR東日本、NTTドコモ及びNTTデータが組織している「Suica 普及有限責任事業組合」から提供を受ける予定です。本件は、同組合からの資金提供の第1号案件となります。

今後、ららぽーと、JR東日本、NTTドコモは、お客様の更なる利便性の向上を考え、他の非接触決済サービスについても本共通インフラで利用できるよう、継続して関係各社との交渉を進めていく予定です。

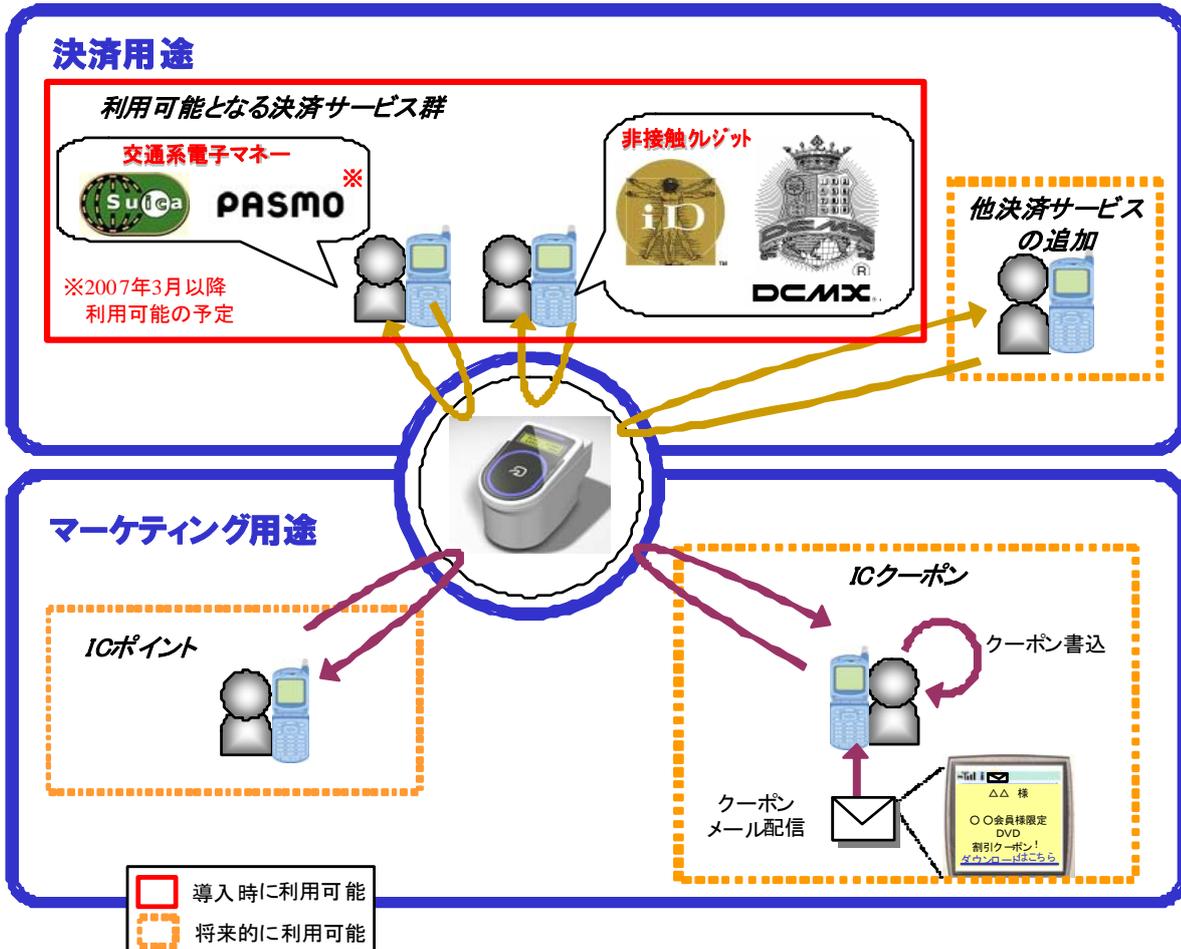
【マルチ決済システムについて】

＜マルチ決済システムとは？＞

マルチ決済システムとは、1台の決済端末（マルチ端末）で複数の非接触決済サービスのほか、マーケティングに関わるサービス等がご利用いただけるようになるシステムです。今回らぽーとでは、まず「Suica」と「iD」（DCMX等）の決済サービスを利用可能とします。

＜マルチ決済システムの拡張性＞

マルチ決済システムは高い拡張性を備えるシステムであり、将来的には、他の非接触決済サービスや、ICチップの特性を活かしたポイントシステム、トルカを利用したICクーポン等のアプリケーションの追加を柔軟に行うことができます。



※「DCMX」はケータイクレジット「iD」に対応したNTTドコモの提供するクレジットサービスです。

※「トルカ」はクーポン券などを電子カードとしておサイフケータイ®に取り込むことができる、NTTドコモの提供するサービスです。

【導入スケジュール】

| | |
|------------|---|
| 2006年 9月 | ラゾーナ川崎プラザに Suica 端末導入 |
| 2006年10月 | アーバンドック ららぽーと豊洲に Suica 端末導入 |
| 2006年11月 | ららぽーと柏の葉に Suica 端末導入 |
| 2007年 3月 | ららぽーと横浜にマルチ端末導入 |
| 2007年 5月以降 | ラゾーナ川崎プラザ アーバンドック ららぽーと豊洲 ららぽーと柏の葉にマルチ端末を順次導入 |

※「Suica」は JR 東日本の登録商標です。

※「おサイフケータイ」「DCMX」「iD」「トルカ」および「DCMX」「iD」ロゴは NTT ドコモの商標
または登録商標です。

※「PASMO」は株式会社パスモの登録商標です。